

のざわ しゅつえん じつけん てきえい ぞうえん げき  
**野澤さん出演実験的映像演劇「SHADOWS(シャドウズ)」**  
 こうしき こうかいけってい  
 3月31日 19:00に MADALA-BA の公式 YouTube チャンネルで公開決定！

遅いお知らせになってしまいましたが、僕が出演した作品のご紹介です。  
 この作品は、作・演出の林さんがこのコロナ渦の中でどう作品を発表、表現するかを考え  
 舞台を映像作品に挑戦したものです。僕自身も舞台を映像化することは初めてだったので、  
 とても新鮮でワクワクしながら本番当日の撮影にのぞみました。  
 今回はコロナ渦で大変なこともありましたが、応援して下さった皆さんのおかげで無事届けられます。  
 是非、参加者全員で綴った物語を観てください。(野澤)

有料版 (3/31(水)~5/21(金) 23:59まで)

<https://madalabaya.thebase.in/>

無料版 (3/31(水)~4/27(火) 23:59まで)

<https://youtu.be/KA1FX7oA6Mw>

シネマルシェ

(脚本・演出の林さんの作品の思いが載っています。  
 一読すると動画がより楽しめるかも。)

<https://cinemarche.net/interview/shadows-hayashiyusuke/>

皆様の健康をお手伝いします  
 処方せん調剤・一般医薬品

**(有)ヨモダ薬局**

定休日：日曜日・水曜日・祝祭日

埼玉県秩父郡長瀬町本野上144-1  
 ☎0494 (66) 0073



設立 会計、税務、相続で困ったら、  
 初回相談無料。

税理士6名・社会保険労務士1名  
 行政書士1名・相続士2名

法人 東京会計コンサルティング

☎ 0120-866-016

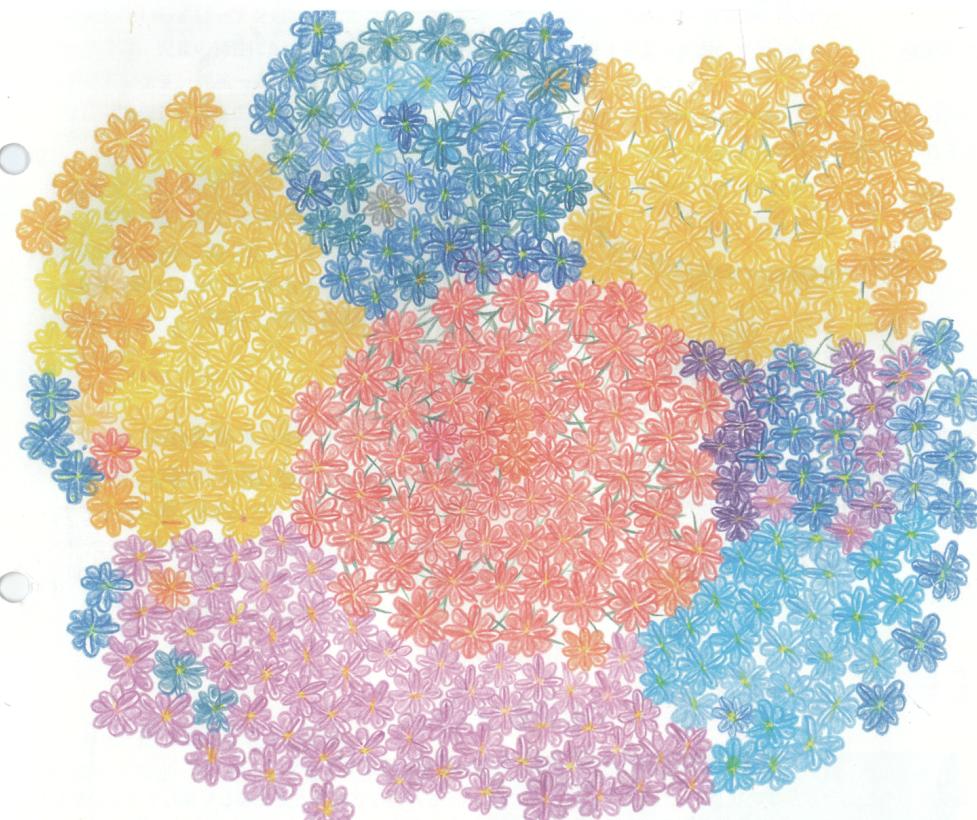
代表税理士：荒井 繁・担当税理士：長谷川 伸生  
 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-5-1 新宿御苑ビル3階



vol.  
 175

2021年4月20日 NPO 法人 CIL ひこうせん発行

# ひこうせん通信



芝桜 miyoko

# 新年度を迎えるにあたって

理事長 杉浦 英俊

昨年は世界の人々を驚愕させているコロナの影響で、ひこうせんもかわいいサミットをはじめ、様々なイベントが中止になりました。新年度も先行きが見えないようですが、このような状況の中だからこそできる事があると思います。皆さんのが協力を頂きながらひこうせんを高く舞上がらせようではありませんか！

新年度は、役職員や利用者、アシスタントなどの枠組みを取り払い、ひこうせんに来ることが楽しいといえる場にしたいです。私は人と人を結ぶことは得意だと自負しています。みんなが自由に声を掛け合うことで、様々な発想が生まれてくることでしょう。一人一人のアイディアがこれからひこうせんをみんなのパワーで将来に役立っていくたい！！それが私の願いです。

## 新職員挨拶

加藤 智宏（アンフィニ）

今までアシスタントとして働いておりましたが、  
新年度からは職員として働きたい事になりました。  
まだ未熟者ですので  
皆さまにはいろいろご指導いただ  
くともあると思いますが、  
精一杯頑張りますので  
どうぞよろしくお願ひいたします。

齋藤 美希（アンフィニ）

私は1月より本部で働かせていただいておりました。  
最初は右も左も分からぬ状態でしたが、スタッフやメンバーさんみなさんがとても優しく接して下さいました。  
それにみなさんが明るく楽しくそれぞれの作業に取り組んでいる様子にとてもパワーを貰え、  
私も頑張って1日も早く仕事を覚えてみなさんのお手伝いができるようになりたいなと感じました。  
新しいアンフィニという場所で、スタッフのみなさんと協力し  
メンバーさんが楽しく過ごせるお手伝いができるように努めてまいります。  
パソコンはあまり得意分野ではありませんがメンバーさんと一緒に学んでいきたいと思っています。  
どうぞよろしくお願ひします。

磯 馬ゆみ（アンフィニ）

研修を通して色々な経験をさせて頂いています。  
まずは、皆さんの顔と名前を覚え、私の事も知って頂きながら、  
一緒に過ごす時間を楽しめる様になりたいと思います。  
よろしくお願ひします。

松坂 純弥（アンフィニ）

私は高齢者の介護に携わってきましたが、  
障がいについては全くわからない事ばかりです。  
皆さんと明るく楽しく一日を過ごしつつ、  
障がいについて学んでいきたいと  
思いますのでよろしくお願ひします。

こころ ☆飯田 寛和

新年度『こころ』では、それぞれの得意やできる  
ことを見つけ、仕事の分担やローテーションを組み、  
一人一人が役割を自覚して行動できるよう、  
より一層の自立を目指して支援していきたいです。

びーす ☆柳田 祥太

新年度も変わらずびーすを運営させていただきます。  
びーすでは、児童の特性に配慮した環境づくりを  
心掛けています。児童一人一人の成長を目の当たりに  
しながら支援して参ります。

キムヒロ ☆木村 浩章

自立相談室「キムヒロ」では、相談者の皆さんや  
ご家族の希望等を実現が出来るように引き続き、  
支援をしていきます。また、相談員の育成と、  
意思決定支援のあり方についても検討していきたい  
と思います。

絆 ☆齋藤 貴美子 楽しい毎日を送りましょう。

絆では、コロナ禍の中、感染防止策を取りながら、できるだけ快適な毎日を過ごしていただけるよう支援し  
ています。まだまだ、今の状態が続きそうですが、各ホームとも、入居者の皆様のご理解とご協力をいただき、  
難局と一緒に乗り越えていきたいと思います。

世話人、生活支援員、夜勤の皆様、厳しい環境ですが、新年度もよろしくお願ひいたします。

## 新年度の施設長抱負

グランディール ☆掛川 潤

新しい体制になりました。昨年から引き続き同じ  
職務を担っていただいている皆さん、そして、  
今日から新しい仕事に向かうことになる皆さん、  
覚えることが多いと思いますが、1日1日を大切に  
し事故なく過ごしてもらいたいと思います。

アンフィニ ☆宮澤 佳保子

4月1日より新設の生活介護アンフィニ施設長に  
拝命しました。  
気持ち良い空間と個々の魅力や隠れた才能を存分に  
発揮し、それぞれの人生が輝いて豊かになれるよ  
うにチーム一丸スタートします！

## 新年度最初のみんなの広場はお花見会



コロナ対策で去年に続きお花見も中止。

お弁当だけを皆さんに、お出しすることになりました。

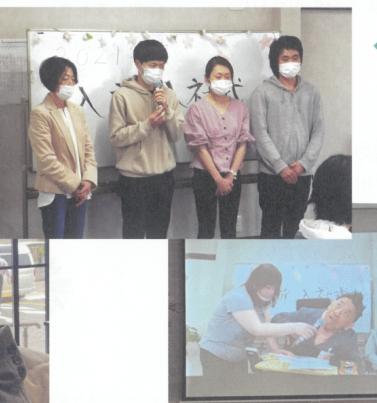
メニューは、焼きそば、お好み焼きとウインナー  
とチキンナゲットとまぜごはん、  
ネギとわかめとえのきの入った、おいしいものが出来ました。

今年は暖かく外の桜は散ってしまいましたが、お  
弁当の中は花満開で、とてもおいしかったです。

# 入所入社式

晴天に恵まれた4月1日(木)に新施設アンフィニにおいて令和3年度入所入社式とオープニングセレモニーが行われました。石井行田市長、門倉工務店会長・門倉様、設計士・額賀様の3名の来賓の方々からご祝辞をいただき、参加者には「ひこうせん」の焼き印がされた十万石饅頭とお赤飯が配られました。

アンフィニは、古代の息吹を感じる古墳公園近く長野地区に建てられ、本部グランティール、南河原のこころに続くひこうせん3つ目となる日中活動施設です。ひこうせん初めてとなるショートステイも3部屋があります。アンフィニでは、youtube、ホームページ作成、ネット通販など主にパソコンでの作業をメインに活動します。桜も満開、真新しい素晴らしい施設で心晴れやか希望に満ちたスタートになりました。



ILP with salonミネルヴァ

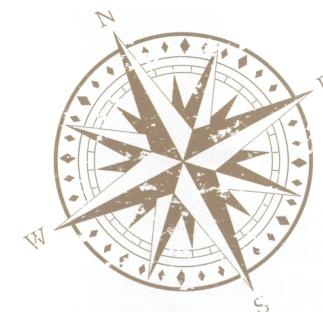
## 第2回「マリーアントワネット」

激動の時代の変化にあった、18世紀末に起きたフランス革命。ブルボン絶対王朝を倒した市民革命で死刑になったマリーアントワネットはほんとうに邪魔で悪女だったのか？ 次回ミネルヴァではフランス革命でギロチンの刑に処されたマリーアントワネットをテーマにします。ミネルヴァの時間で教養、芸術、学問を気軽に一緒に学びませんか？サロンの参加お待ちしています。

日時：5月12日(水) 13:00～15:00

締め切り：5月6日(木)

参加申し込み：杉浦・杉尾・木村まで



# 羅針盤

だいしょうおししゃく  
第8章 インドの教えと受援力

2011年3月11日に「東日本大震災」が起きて、今年で10年目を迎えた。

私は、その日は、ひこうせん旧本部で来客を迎える準備をしている時にかつて経験をしたことがない程の揺れを感じ、「どうとう関東にも大震災が起きたか」と直感的に思ったことを今でも鮮明に頭の中に残っている。

東日本大震災が起きた直後の会報に「受援力」についてのことを書いた。この「受援力」という言葉は、支援力の対義語で「人から何らかの支援を受ける力」のことの意味である。大震災当時のラジオ番組で、特に高齢者は、「本当は、何らかの支援をしてもらいたいのに、周りに迷惑をかけたくないとの理由から『特に困っていない』と答える人が多い」とあるコメントーターが言っていたのが印象的だった。このラジオの高齢者の言葉に限らず、多くの日本人(特に男性)が持っている「人に迷惑をかけないことが美德だ」という考えが昔から浸透しており、この考えから「もし、自分が事故や病気で重い障害を持ったら、周囲に迷惑をかけるのが嫌だから・・・・」という思いをしている人が少なくない。

「周囲に迷惑をかけることは、恥である」ということや、「人に迷惑をかけないことが自立の条件」という考え方の基に、障がい者は「迷惑をかける存在」として社会から排除され、障がい者の自立生活を拒む一つの要因になってきたと言えよう。

インドには、「人間は生まれつき迷惑をかけるものなのだから、感謝と優しさを忘れずに生きなさい」という教えがあるそうだ。このインドの教えは、「元々、人間は、他人に迷惑をかける存在だ」とした上で、「感謝と優しさを持って生きるべき」であるという意味だと私は解釈している。

菅総理は、昨年開かれた臨時国会の所信表明演説で「自助・共助・公助」を目指す社会像を示した。まずは、自分で出来ることはやる努力をして(自助)、地域で助け合い(共助)、それでも無理な場合は、セーフティーネットを使い、国や市町村が守る(公助)。菅総理のこの言葉は、一聴すると聞えが良いが、よくよく考えてみると「自ら努力しないのは、自己責任である」と言っていることに聞えてくるのはだけだろうか。昨年以来、コロナウイルス感染の収束が不透明な状況で、もう自助努力は限界に来ている人もたくさんいることを分かっての発言が疑問が残る。

コロナ禍の中の今でこそ、インドの教えのような考え方が必要であり、障がい者や高齢者等の社会的弱者に限らず、多くの人がもっと「受援力」を高めることが大切である。

# さいとうきみこの 便利グッズ 第6弾

防災ポーチ、携帯していますか?  
外出時に災害が起こっても大丈夫!



東日本大震災から10年。この間にも、何度かの地震と風水害が日本を襲いました。

2019年10月12日の台風では、ひこうせんも床上浸水や本部への避難、ピースのエレベーター故障などの被害がありました。

災害は忘れたころにやってくる、と昔から言われています。まして、東南海地震については、東日本大震災直後から30年以内に起きると言われて10年経過しているので、今後20年以内には起きることが予測されます。何人かの識者が、地震もさることながら、今夏には、風速70メートル級の風水害が発生すると警告しています。

さらには、危惧している東南海地震、そして富士山の噴火までもが起きるのではないかと言っている方もいます。

いたずらに不安を煽るつもりはありませんが、日頃から対策を考えておくことが大切です。

そこで、今回、お勧めしたいのは、外出時に災害が起こっても大丈夫なように最低限の防災対策グッズを常に持ち歩くようお勧めします。もう、準備万端という方もいらっしゃると思いますが、是非、この機会に見直してみてください。

私がお勧めする防災ポーチは、毎日持ち歩いても重たくならないよう、でも最低限持っていた方が良いものを入れておくものです。

- ① グッズを入れておくポーチは、水に濡れてもいいようにビニール製、或いは同等のもの
- ② 携帯のバッテリー。これも出来るだけ小さくて軽量で、しかも10000mAh以上あるもの、いまや、携帯は必需品です。充電が切れてしまってはいけません。
- 既にいつも持っている方もいらっしゃるでしょうが、防災グッズとしての役割も認識して、いつも使える状態にして持ち歩きましょう。

- ③ 緊急 携帯トイレ（大小兼用）
- ④ ウエットティッシュ
- ⑤ レスキュー・シート 2130×1370mm
- ⑥ 使い捨てカイロ
- ⑦ ポケットティッシュ
- ⑧ 小銭。なるべく10円玉と100円玉で、1000円くらい。
- ⑨ ホイップル



などです。防災ポーチとしてではなくても毎日持ち歩いていればオッケーです。防災ポーチとして、

①のような耐水性のポーチに入れて持ち歩いていれば、なお万全です。

この機会に見直して、是非、防災ポーチを常に持ち歩いてください。

## 誰でもコラム No.2

杉尾みゆき

(プロフィール: ILP・ピアカン課長、占い師 白魔女美雨)

緊急事態宣言中わたしは自宅で自粛しながら

リモートでひこうせんの仕事をしていました。

呼吸器系が弱く感染することを恐れ家から外へ出る事を極力控えてました。

わたしの仕事である占いの対面鑑定も難しく、今までの方法を考え直す必要性がでした。

そこで、前々から考えていた占いをオンラインで鑑定することを始めたのです。

今までの対面鑑定のように自身とお客様と直接占いをする第一歩として、ネット環境はすぐに

取り入れることは出来ました。

問題はお金の流れです。

個人で始めるにはセキュリティーなどの心配がありました。

それで、ずっと気になっていた電子マネーなどを積極的に取り入れてみました。

アナログ人間が現代の流れに乗れるか心配でしたが、いざ始めてみるとこんなに便利で、

身体の活動が限られてるわたしにとって自由をまた知り、仕事の幅が変りました。

占い師の活動ですが、私にはこのコロナ自粛が経済的自立のプラスに動いた一つでした。

限られた状況下に楽しい事を見つけるのもチャンスに繋がると思います。



## 5月ミニILP

「一人暮らしをしたら住みたい場所はどんな場所ですか。住みたい街を考えよう。」

ILP（自立生活プログラム）とは、自立生活を豊かに安心して暮らせるように生活の技術などを学びます。

ミニILPは、いつまでも、ゆっくりでも自分で生きる力を切り開く為に毎月1回、学ぶ時間です。

一人暮らし、または引っ越しもそうですが物件を探すのは楽しみもありますが、探して決めてくのは大変なこともあります。

とくに車椅子ユーザーにとって、家の間取りの中でバリアフリーが絶対に必要な大切な部分もあります。自分が住みやすく、家賃はどのくらいがよいか考えましょう。

是非、ご参加ください。

日時 2021年5月20日(木) 13:00~15:00

場所 ひこうせん本部

参加申し込み締め切り日 2021年5月6日(木)

参加申し込み先さま 自立促進部 杉浦・杉尾・木村まで

